



エコアクション 21 環境経営レポート

対象期間 2021年5月1日～2022年4月30日

発行日 2022年6月20日

HP <http://www.utsugi-metal.com/>

1. 会社概要

- 1) 事業所及び代表者名
株式会社 宇津木金属
代表取締役 宇津木大輔

- 2) 所在地
本社：
〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田 2-20-3
電話 049 (284) 1172
工場：
〒350-0161 埼玉県比企郡川島町長楽 219
電話 049 (297) 7882

- 3) 設立、資本金
設立：平成 11 年 7 月 22 日
資本金：3500 万円

- 4) 事業規模

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
産廃運搬量 (t)	1083	1045	1164
非鉄金属リサイクル量 (t)	530	535	531
鉄リサイクル量 (t)		496	488
売上 (百万)	311	320	371
従業員数 (名)	10	12	13

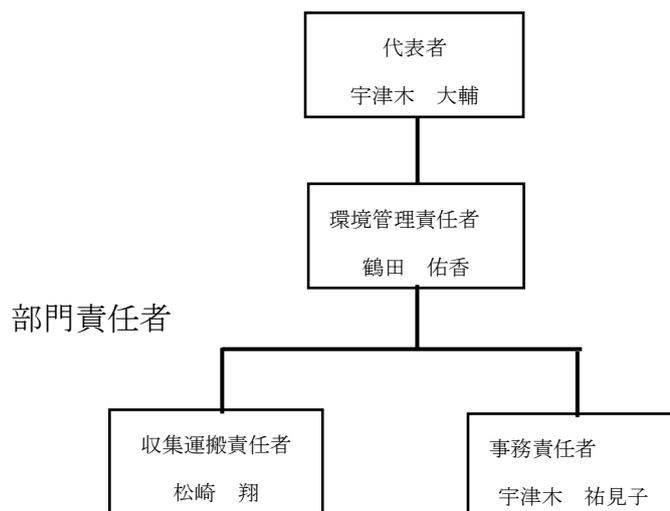
※従業員数内訳

役員 3 名
社員 6 名
パート (週 3 日) 8 名 ÷ 2 ⇒ 4 名

5) 認証登録範囲

全組織・全活動を範囲とする

6) 環境管理組織図



役割	責任及び権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ■環境方針の制定・誓約及び従業員への周知 ■環境管理責任者の任命 ■環境経営資源の確保 ■全体の取組状況の評価と見直し並びに指示 ■実施体制の見直しを毎年実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■EA21 活動全般の構築・運営 ■EA21 の実施状況を経営者に報告
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■環境目標、環境実行計画の策定・実施 ■適用される法的要求事項の遵守
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ■環境目標、環境実行計画の実施

7) 事業内容

- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・非鉄金属回収及び販売業
- ・機械設備搬入搬出業

廃棄物許認可内容

事業区分	区域	許可番号	許可年月日	有効年月日
産業廃棄物収集運搬業	埼玉県	01106064001	平成 11 年 10 月 4 日	令和 5 年 6 月 21 日
産業廃棄物収集運搬業	東京都	13-00-064001	平成 11 年 9 月 17 日	令和 5 年 9 月 1 日
産業廃棄物収集運搬業	千葉県	01200064001	平成 12 年 3 月 8 日	令和 9 年 3 月 7 日
産業廃棄物収集運搬業	神奈川県	01403064001	平成 14 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 31 日
産業廃棄物収集運搬業	群馬県	01000064001	平成 12 年 11 月 9 日	令和 8 年 9 月 23 日
産業廃棄物収集運搬業	栃木県	00900064001	平成 12 年 2 月 23 日	令和 9 年 2 月 22 日
産業廃棄物収集運搬業	茨城県	00801064001	平成 12 年 3 月 7 日	令和 9 年 3 月 6 日
産業廃棄物収集運搬業	新潟県	01509064001	平成 27 年 8 月 19 日	令和 9 年 8 月 18 日
産業廃棄物収集運搬業	長野県	2009064001	平成 27 年 7 月 14 日	令和 9 年 7 月 13 日
産業廃棄物収集運搬業	山梨県	01900064001	令和 3 年 1 月 27 日	令和 8 年 1 月 26 日
再生資源回収事業者	全国	第 N11K-01019 号	平成 23 年 7 月 16 日	令和 5 年 7 月 15 日
古物商	埼玉県	第 431130031898 号	平成 27 年 4 月 27 日	—

都道府県	廃プラ	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	汚泥	ガラスコン クリートく ず	鉱さい	がれき類
埼玉県	◎	○	○	○	○	—	◎	○	◎
東京都	◎	○	○	○	○	○	◎	—	◎
千葉県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
神奈川県	◎	○	○	○	○	○	◎	○	◎
群馬県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
栃木県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
茨城県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
長野県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
新潟県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎
山梨県	◎	○	○	○	○	—	◎	—	◎

◎石綿含有（アスベスト）を含む

8) 登録車輛

車体形状	最大積載量	台数
クレーン	2.25 t	1
クレーン	4.45t	1
パワーゲート	3.1t	1
パワーゲート	3.15 t	1
パワーゲート	3.0 t	2
平ボディ車	0.8t	1
バン	1.25t	1
バン	0.35t	1

2. 環境経営方針

【環境理念】

私たちは3世代先のゴミを片付けています。
かけがえのない地球を未来に引き継ぐことが、人類共通の重要課題であることを認識し、全社員一丸となって企業活動のあらゆる面で地球環境保全に配慮します。

【行動指針】

環境保全推進体制を構築し、下記の行動方針を定め積極的な取り組みを推進します。

1. 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるため、次の取組を行います。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 廃棄物排出量の削減
 - ③ 総排水量の削減
 - ④ グリーン購入の促進
 - ⑤ トラック燃費の向上
2. 環境関連法規ならびに当社が同意した協定その他を遵守します。
3. 環境方針等必要な情報は公開し、社員一人一人に周知します。
4. 地域社会との共生を図り、社会貢献活動に協力します。

改訂日：令和3年5月1日

株式会社宇津木金属
代表取締役
宇津木 大輔

環境目標・計画

3. 環境経営目標・計画

3-1 目標（中長期）

《売上増減に係る項目》 売上金額1億円あたりで算出

環境目標		基準年実績 2020年	2021年	2022年	2023年
CO2削減※1	kg-co2/億		-1%	-2%	-3%
		33,248	32,915	32,583	32,250
ガソリン	ℓ/億		-1%	-2%	-3%
		3,245	3,212	3,180	3,147
軽油	ℓ/億		-1%	-2%	-3%
		9,300	9,207	9,114	9,021
廃棄物	Kg/億		-1%	-2%	-3%
		366	362	358	355

《売上増減に係らない項目》

環境目標		基準年実績 2020年	2021年	2022年	2023年
電力	kwh		-1%	-2%	-3%
		8,006	7,925	7,845	7,765
水	m ³		-1%	-2%	-3%
		69	68	67	66
トラック燃費	km/ℓ		1%	2%	3%
		5.8	5.85	5.91	5.97
グリーン購入※2	品目		40%	45%	47%
		9/22	10/22	11/22	12/22

※ 化学物質は使用していない

※1 二酸化炭素排出係数は東京電力の令和2年0.447kg-CO2/kWhを使用

※2 当社該当適合品目は紙、文具・事務用品の分野に絞り調査

購入率は、《購入済み適合品数÷当社該当適合品数》により算出

3-2 計画

	取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力
	1) 不要電気の off
	2) 冷房 28℃、暖房 20℃
	3) LED 照明への切り替え
	4) 節電の表示
	化石燃料
	1) エコドライブの推奨
	2) トラックの定期整備
	3) 走行距離の定期チェック
	4) 空気圧の定期チェック
廃棄物排出量削減	1) 有価物、廃棄物の分別
排水量削減	1) 洗車時の出しっ放し防止
	2) 節水の表示
グリーン購入	1) 事務用品のグリーン購入
	2) 該当品目の調査
	3) 他社の調査
トラック平均燃費の向上	1) エコドライブの推奨

4. 結果・評価

(集計期間：2021年5月1日～2022年4月30日)

目標項目	単位	目標・実績・評価				
		基準年	目標・実績			
		2020年度	2021年度			
		5～4月	5～4月			
		実績	目標	実績	結果	評価及び次年度の対策
売上の増減に関係のある項目 (売上金額1億円あたりで算出)						
CO2排出量削減	kg-co2	33,248	32,915	29,241	○	評価：二酸化炭素の排出量を抑えることができた
	%		△1	△11		次年度：引き続き節電に努める
ガソリン使用量の削減	リットル	3,245	3,312	2,613	○	評価：エコドライブの効果が出了
	%		△1	△21		次年度：エコドライブの強化
軽油使用量の削減	リットル	9,300	9,207	8,342	○	評価：エコドライブの効果が出了
	%		△1	△9		次年度：エコドライブの強化
廃棄物排出量の削減	Kg	366	362	5,377	×	評価：解体精度を上げ有価物買取を積極的に行った結果、その残りが自社廃棄物となった。
	%		△1	147		次年度：目標値の再設定を検討するとともに、解体選別の精度を高める
売上の増減に関係のない項目						
電力使用量の削減	kWh	8,006	7,925	9,191	×	評価：解体分別時に金属破砕機及び電気工具使用回数が大幅に増えた
	%		△1	15		次年度：掲示物による節電徹底及びクールビズ、ウォームビズの実施に積極的に取り組む
水道使用量の削減	m ³	69	68	84	×	評価：洗車回数を減らし削減を目指す
	%		△1	22		次年度：環境整備に気を付けながら、節水を心掛ける
トラック燃費の向上	km/l ^{リットル}	5.8	5.85	6.9	○	評価：燃費向上につながった
	%		1	19		次年度：定期的にミーティングを開き、その強化を図る
グリーン購入の促進	品目	9/22	10/22	14/22	○	評価：適合品を購入し使用するだけなので比較的容易に達成できた
	%	40	43			次年度：22品目に対し目標である50%以上の購入となる12品目以上の導入を目指す

※ 化学物質は使用していない

※1 二酸化炭素排出係数は東京電力の令和2年 0.447kg-CO₂/kWh を使用

※2 当社該当適合品目は紙、文具・事務用品の分野に絞り調査

購入率は、《購入済み適合品数÷当社該当適合品数》により算出

5. 環境関連法規遵守状況及び違反、訴訟等の有無

法令名称	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none">・分別の徹底・一般廃棄物の適正な廃棄処理の委託・取引業者との委託契約締結・マニフェストの取り交わし・水銀廃棄物の適正処理・建設法によるアスベストの処理	遵法
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none">・廃車時の処理費用負担 (自動車リサイクル券の購入)	遵法
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none">・特定家電製品廃棄時の処理費用負担 (家電リサイクル券の購入)	遵法
グリーン購入法	<ul style="list-style-type: none">・環境物品等の選択・購入義務	遵法
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none">・浄化槽の定期点検・水質検査・清掃	遵法
埼玉県生活環境保全条例	<ul style="list-style-type: none">・アイドリングストップの推進・エコドライブの推進	遵法

令和3年4月に環境関連法規の遵守状況を確認した結果、問題はありませんでした。

尚、過去3年間、関係当局からの違反及び近隣からの苦情等の指摘はなく、また訴訟もありませんでした。

6. 代表者による全体の評価と見直し結果

本年度は上半期、下半期で仕事量そしてエコアクションの取り組みに大きな差が出る一年となった。

まず我々の事業について簡単に説明させていただくと、当社宇津木金属は主要取引先として大手通信会社、またその関連会社とお付き合いをさせていただいている。そういったお客様から産業廃棄物および銅線などの有価物回収のご依頼を受けている。

しかし、本年度は東京でオリンピック、パラリンピックの開催があり、その期間中は通信回線トラブルが起こりうる工事は一切行われなかったことから、当然ビジネスの川下の役割を担う不用品回収業務の仕事量も当然激減した。

そういった背景もあり、我々も生き残りをかけ今までにない取り組みを始めることとなった。

その一つ目として、営業部の創設。新規顧客獲得を目指し、通信業界以外の取引先を増やし、他業種とのかかわりを増やすことを目的とした。

二つ目として、本来産廃として引き取っていたものの中で有価物として引き取れるものは排出事業者様とよく話し合い極力有価物で引き取ることをした。

この二つの取り組みが本年度下半期の売上を飛躍的に伸ばす一因となった。

一方でこの二つの取り組みはエコアクションの取り組みにも影響を及ぼした。営業部の新設により、事務所内で作業をするスタッフが増え、電力使用量が増えたこと。

有価物の積極買取により、本来ゴミで回収していた金属混じりの廃棄物をできる限り有価物として引き取り自社工場内で金属をとりわけその残りを自社廃棄物として処理したため大幅に増加してしまったこと。

またその結果、金属取り出し作業時に金属破砕機および電気工具使用回数が大幅に増えたこと。

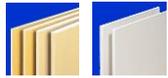
以上が本年度一部の項目で目標未達になった原因と考えられる。

しかし、今回の結果においては企業の存続において必要な挑戦から生まれたものであり、決して落胆する結果ではないと私は考えている。来年度も上記二点の取り組みを続けていくにあたり、新たな目標設定を行い、エコアクションの活動に取り組んでいく。

有価物

<h3>電線くず</h3>  <p>注意</p> <p>① 光ケーブルは“廃プラスチック”に分別してください</p> <p>② 買取金額が大きく変わるため、なるべく同じ種類のケーブルに分別してください</p>	<h3>紙・ダンボール</h3>  <p>注意</p> <p>次の場合は“廃プラスチック”に分別してください</p> <p>① ビニールや特殊な素材が付着している紙</p> <p>② 使用済みのティッシュ、ちり紙</p>	
<h3>非鉄金属くず</h3> 	<h3>鉄くず</h3> 	<h3>ケーブルドラム</h3> 

産業廃棄物

<h3>木くず</h3>  <p>注意</p> <p>ケーブルドラムは“有価物”になります</p>	<h3>石膏ボード</h3>  <p>注意</p> <p>その他産業廃棄物は混ぜないでください！</p> <p>石膏ボードは処分場にて破砕せずに再生利用をはかると、処分場が混ざっていると受け入れを拒否されてしまいます。</p>	<h3>アスファルト・コンクリート</h3>  <p>注意</p> <p>その他産業廃棄物は混ぜないでください！</p> <p>アスファルト・コンクリートは処分場にて破砕せずに再生利用をはかると、処分場が混ざっていると受け入れを拒否されてしまいます。</p>
<h3>金属くず</h3>  <p>注意</p> <p>有価物か産廃、どちらかわからない場合は厚さで判断してください</p> <p>厚さ1mm未満 ⇒ 産廃</p> <p>厚さ1mm以上 ⇒ 有価物</p>	<h3>軽量廃プラスチック</h3>  <p>注意</p> <p>その他産業廃棄物は混ぜないでください！</p> <p>処分場の高い軽量廃プラスチックとその他産業廃棄物を混ぜると、処分場では全て軽量プラと判断されてしまいます。</p>	<h3>底プラスチック</h3> <p>人工素材を使用して作られた容器や製品全般を指します。</p> <p>液状のものは除き</p> <p>『この表に載っていない』『判断が難しい』</p> <p>モノは全てこの底プラスチックに分別してください。</p> <p>回収の際、こちらで再度分別いたします。</p>